

セクシュアリティにおいて、身体の性と心の性が一致し、異性を恋愛対象とする人たちが多数者です。しかし、同性を好きになる人、同性も異性も好きになる人、いずれも好きにならない人、また、身体の性と心の性が一致していないような感覚や違和感を抱きながら日々の生活を送っている人もいます。

そのような人たちは、少数者ということでセクシュアルマイノリティ（性的少数者）とされ、セクシュアルマイノリティの代表的な呼び方として、LGBT や LGBTQ といった言葉があります。

LGBTQとは

L・・・Lesbian(レズビアン) 同性を好きになる女性

G・・・Gay(ゲイ) 同性を好きになる男性

B・・・Bisexual(バイセクシャル) 性別に関わらず、同性を好きになることも異性を好きになることもある人

T・・・Transgender(トランスジェンダー) 体の性と心の性が異なる人

Q・・・Questioning(クエスチョニング) 性的指向や性自認がはっきりしない、決められないあるいは悩んでいる状況にある人

「世界がもし 100 人の村だったら」

池田香代子再話・マガジンハウス

52人が女性です。48人が男性です。

30人が子どもで70人が大人です、

そのうち7人がお年寄りです。

90人が異性愛者で、10人が同性愛者です。

70人が有色人種で30人が白人です。

約20人に1人がセクシュアルマイノリティであるといわれています。これは、左利きの人と同じくらいの割合です。「自分はセクシュアルマイノリティの人に会ったことがない」と思う人もいかもしれませんが、それは相手が隠していたり、見た目では分からなかったりするので、その存在に気づいていないだけなのです。社会の中には様々なセクシュアリティの人がいて、共に生きているということを知ってください。

性って何だろう？



みなさん、「性」と聞くとどんなことを思い浮かべるでしょうか？「性別」を思い浮かべる人もいるかもしれません。例えば、保険証には性別が記されていますね。それは、生まれ持った身体の性が記されています。しかし、身体の性だけでその人を表すことはできません。

身体の性だけではない、その人自身の性のあり方のことを「セクシュアリティ」といいます。セクシュアリティには4つの要素があり、人によって様々です。

ひとの性には、4つの要素があります

① 身体の性

生まれ持った身体の性のこと。外性器や内性器、染色体などで男女の差がみられます。中には、性分化疾患と呼ばれる典型的な男女とは違う発達の仕方をする人もいます。

②心の性

自分の性別をどのように認識するか（性自認）を意味します。そして、この性は必ずしも「身体の性」と一致するとは限りません。また、「男」と「女」に明確に分けることもできません。

③社会的な性（性表現）

「男だから～」「女だから～」と性別によって社会的に期待されている役割（服装や振る舞い）を性役割といいます。性表現とは、本人が望む役割（服装や振る舞い）のことを言います。必ずしも求められる性役割と性表現が一致するとは限りません。

④好きになる性（性的指向）

恋愛の対象となる人の性。

例えば・・・

